

第 38 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル札幌大会 開催要項

趣旨・沿革

社団法人日本アマチュアオーケストラ連盟（JAO）は、1972 年創立以来 38 年を迎えました。当初 23 団体で発足した連盟は、その後 145 団体に増加し、1995 年にはわが国唯一のアマチュアオーケストラ組織として社団法人の認可を受けました。

連盟は、主な行事すなわち、年 1 回全国各地を巡って開催される全国アマチュアオーケストラフェスティバルや技術向上のためのオーケストラクリニック、トヨタ自動車株式会社との提携事業であるトヨタコミュニティコンサート（TCC）、トヨタ青少年オーケストラキャンプ（TYOC）、また中高年を対象とした高円宮メモリアル日本マスターズオーケストラキャンプなどを通じて、アマチュアオーケストラの向上発展に寄与してきました。

また、1990 年からは世界の青少年オーケストラとの交流も始まり、1998 年には社会人を含む世界アマチュアオーケストラ連盟（WFAO）が設立され、昨年 12 月には NPO として認定され、現在 21 ヶ国 2400 団体が加盟する組織に成長しました。このような状況のもとで、第 38 回を迎える全国アマチュアオーケストラフェスティバルを今回北の大地北海道札幌市にて開催することとなりました。

市民が主体的に芸術文化活動にかかわることのできる環境づくりを目指し、長期的な視点からの芸術文化基本構想を策定している札幌市において、全国からのアマチュア演奏家が一同に会しオーケストラの演奏と研究討議が行われ、音楽交流事業が開催されることは大変意義深いものと考えます。

主催等（予定を含む）

主催：（社）日本アマチュアオーケストラ連盟（JAO）

共催：北海道・札幌市・第 38 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル札幌大会実行委員会

協賛：日本芸術文化振興会 トヨタ自動車株式会社

後援：文化庁 各報道機関（北海道新聞 朝日新聞社 毎日新聞社 読売新聞社 産経新聞社 NHK札幌放送局）

開催期日

2010 年（平成 22 年）6 月 18 日（金）～ 6 月 20 日（日）

会場

札幌コンサートホール”Kitara”

〒963-8878 札幌市中央区中島公園 1 番 15 号

Tel: 011-520-2000 / Fax: 011-520-1575

<http://www.kitara-sapporo.or.jp/>

役員・実行委員（予定）

総裁 : 高円宮妃殿下
大会会長 : 北海道知事 高橋はるみ
大会副会長 : 札幌市長 上田 文雄
J A O 会長 : 神野 信郎 中部ガス株式会社取締役会長
J A O 理事長 : 森下 元康 (社) 日本アマチュアオーケストラ連盟
実行委員長 : 伊東 充 札幌フィルハーモニー管弦楽団運営委員長
実行委員会 : 第 38 回全国アマチュアオーケストラフェスティバル札幌大会実行委員会
主管 : 札幌フィルハーモニー管弦楽団 (協力: 北海道交響楽団)

開催内容

(1) オーケストラ (6月18日~20日) ※コンサート6月20日

【フェスティバルオーケストラA】

指揮 : 秋山 和慶
ゲストコンサートマスター: 大平 まゆみ
曲目 : エルガー作曲 エニグマ変奏曲

【フェスティバルオーケストラB】

指揮 : 秋山 和慶
ゲストコンサートマスター: 深山 尚久
曲目 : ラフマニノフ作曲 交響曲第2番ホ短調

【フェスティバルマスターズオーケストラ】

指揮、ヴァイオリン独奏 : 安永 徹
ピアノ独奏 : 市野 あゆみ
曲目 : ハイドン作曲 ヴァイオリンとピアノのための協奏曲

(2) 運営協議会

(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟会員オーケストラ代表者による連絡会議。
アマチュアオーケストラ活動に伴う諸問題について研究討議する。

参加資格

(社) 日本アマチュアオーケストラ連盟 (J A O) 会員、世界アマチュアオーケストラ連盟 (W F A O) 会員、及び会員が推薦する個人または団体
※フェスティバルマスターズオーケストラへの参加は、40歳以上の弦楽器奏者のみとなります。

参加費

オーケストラ/15,000円 運営協議会/10,000円 オブザーバ/10,000円

注) 参加費には、6/18, 6/19の昼食代、JA0主催レセプション参加費用が含まれます。

昼食の要・不要、レセプションの参加・不参加にかかわらず参加費は一律です。

問い合わせ

第38回全国アマチュアオーケストラフェスティバル札幌大会実行委員会

電話: 070-5601-6190 (札幌フィル: 伊東)

メール: jao@sapporo-phil.net

公式サイト: <http://sapporo-phil.net/jao-sapporo/>

◆指揮者・独奏者・ゲストコンサートマスター プロフィール

秋山 和慶 (Kazuyoshi Akiyama) — 指揮 —

1941年生まれ。故斎藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、トロント交響楽団の副指揮者、アメリカ交響楽団音楽監督、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキューズ交響楽団音楽監督(現在名誉指揮者)を歴任。サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ケルン放送交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団などに客演している。

1991年東京交響楽団創立45周年記念ワールドツアーでは全公演を指揮して大成功をおさめ1994年には東京交響楽団第400回定期演奏会を記念したシェーンベルクの歌劇「モーゼとアロン」(演奏会形式)を指揮、各紙から絶賛を博し同年音楽界最大の話題となった。また同公演のCDは各レコード誌より国内外で高く評価された。ふたたび1996年東響創立50周年記念ヨーロッパ公演を指揮して同公演を成功に導き、2001年には東京交響楽団創立55周年トルコ・イタリア公演を指揮し各地で好評を博した。1997年にシェーンベルク:ヤコブの梯子、ヤナーチェクの歌劇「利口な女狐の物語」(舞台上演形式)、2000年ラッヘンマン:歌劇「マッチ売りの少女」(演奏会形式・日本初演)、ヤナーチェク:歌劇「カーチャ・カヴァノヴァー」(原語による日本初演)、2003年にはジョン・アダムズ:「エル・ニーニョ」(日本初演)を取り上げるなど常に新たな挑戦を続けている。

これまでに第6回サントリー音楽賞(1975年)、芸術選奨文部大臣賞(1995年)、大阪府民劇場賞(1989年)、大阪芸術賞(1991年)、第36回川崎市文化賞(2007年)、広島市民賞(2008年)をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞(1994年)、第8回京都音楽賞大賞(1993年)、モービル音楽賞(1996年)、第29回サントリー音楽賞(1997年)を受賞。2001年11月には紫綬褒章を受章した。

現在、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、九州交響楽団首席指揮者・ミュージック・アドヴァイザーを務めている。

安永 徹 (Toru Yasunaga) — 指揮、ヴァイオリン独奏 —

1964年より江藤俊哉氏に師事。桐朋学園高等学校音楽科を経て、同大学音楽学部入学。在学中の71年に第40回日本音楽コンクールで第1位受賞。74年に同大学卒業。75年ヨーロッパに渡りベルリン芸術大学に入学。ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。77年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に第1ヴァイオリン奏者として入団。83年より2009年まで同楽団の第一コンサートマスターを務める。2009年春に退団。83年～89年までベルリン・フィル弦楽ゾリステンのリーダーとして、96年～2001年までベルリン・フィル・カンマーゾリステンのメンバーとして、また、ソリスト、室内楽奏者としてヨーロッパや日本その他各地で演奏を行っている。市野あゆみとの共演によるR・シュトラウス、フランク、ベートーヴェンのソナタなどレコーディングも数多く、2004年7月「ベスト・ライブ・コンサート」(ナミ・レコード)、またオーケストラ・アンサンブル金沢とのライブ録音(ワーナー・ミュージック)も3枚リリースされている。

市野 あゆみ (Ayumi Ichino) — ピアノ独奏 —

東京芸術大学付属高校で田村宏氏に、同大学で安川加寿子氏に師事。在学中に安宅賞を受賞。東京芸術大学卒業後、マルセイユのコンセルヴァトワールにてピエール・バルビゼ氏に師事。1978年にスペイン・バルセロナのマリア・カナルス国際コンクールに入賞。78年よりベルリン芸術大学に於いてクラウス・シルデ、クラウス・ヘルヴィッヒの両氏に師事。86年、同大学に於けるソリスト・コンサート試験に最優秀で合格、卒業。在学中に、マスタークラス等でマリア・クルチオ、ジョルジュ・シェベック、アマデウス・ヴェーバー・ジンケの各氏に師事。91年～96年までベルリン芸術大学講師を勤める。96年～2001年までベルリン・フィル・カンマーゾリステンのピアニストとして、また、ソリスト及び室内楽奏者として、ヨーロッパや日本その他各地で多くの演奏と録音をおこなっている。安永徹との共演によるソナタのレコーディング、また、オーケストラ・アンサンブル金沢の定期演奏会にてライブ録音されたモーツァルトとメンデルスゾーンとの協奏曲(ワーナー・ミュージック)等もリリースされている。

深山 尚久 (Naohisa Miyama) — ゲストコンサートマスター —

1956年生まれ 東京芸術大学から同大学院修了。84年文化庁海外芸術家派遣研修員としてドイツに留学。大学院在学中より東京フィルのコンサートマスターに就任。以来、新星日響、札幌、広響、神奈川フィル、東響のコンサートマスターを歴任。元・玉川大学芸術学部准教授音楽界での信頼は厚く、現在ソロ、室内楽、指揮、放送、教育、録音など多角的な活動を展開している。「プロ・アマ・聴衆間の垣根を取り除きたい。」と熱く語る。

ヴァイオリン教則DVD「ヴァイオリン・テクニカル・クリニック／基礎～応用ポイントマスター」(CGVD-1008)、「ヴァイオリン・テクニカル・クリニックII実践編／基礎～応用ポイントドリル」(CGVD-1019)、CD「愛の言葉」(オクタヴィア・レコード OVCX-00029)、著書「目からウロコのポイントチェック／Let's ヴァイオリン・レッスン」(レッスンの友社)等を発表。

現在、深山アカデミー主宰、日本弦楽指導者協会関東支部理事。ミリオンコンサート所属。使用楽器 ピエトロ・ガールネリ。

大平 まゆみ (Mayumi Ohira) — ゲストコンサートマスター —

仙台市出身。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業。同大学入学3ヵ月後に、アメリカ・サンフランシスコ音楽院に招待留学。在学中、コールマン・ナショナル室内楽コンクール第1位。また、タングルウッドのバークシャー音楽祭では最優秀ヴァイオリニストとして、シルバースタイン賞を受賞する。卒業後、同音楽院講師、スタンフォード大学講師を務める。全米、メキシコ、ヨーロッパで演奏活動後、東京交響楽団のアシスタント・コンサートマスターを務め、ゲスト・コンサートマスターとして読売日本交響楽団をはじめ、数多くのオーケストラと共演。1998年より札幌交響楽団コンサートマスターを務める。

2008年3月には、初のファーストアルバム「ALL MY LOVE」をリリース、クラシック CD チャート部門で第一位を獲得するなど好評を博している。2NDアルバム「From MY Heart～心から～」では、オリジナル曲が第28回さっぽろホワイトイルミネーションのコラボレートミュージックに決定。音楽を通じてまちづくりにも華を添えている。

現在は、もっと多くの人々と音楽のすばらしさを共有したいとの思いから、国内外のエンターテイメント音楽事業のプロデューサー、各地の病院、福祉施設での演奏を行うなど様々なシーンで音楽を提供している。